

【4】

「子どもを守るためにできることは？」（傍観者の立場を通して）
～わが子の友だちがいじめられています・・・～（人間関係）

【学習資料】事例シート

「どうしょっか」

小学3年生になる娘のAが、夕食の時にこんな話をしてくれました。

「お母さん、B君っていじめられてるんだよ。」

「え、何で？誰に？」

「C君とD君とE君。今日、学校から帰って来る時、B君の背中をドンドンって押して、田んぼに落としたんだよ。B君のこと、叩いたり蹴ったりしているのも見たことある。」

「ええ！いつから？」

「けっこう前から。」

「今日、Aは注意したの？」

「うん。Fちゃんと一緒に『何してるの!』って。でも『はあ？遊んでるだけだしー』って言われた。」

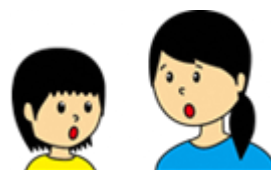
「B君は？」

「黙ってた。」

「先生は知ってるの？」

「わかんない。だって、いつも先生がいない時にしてるし。」

「明日、先生に言ってみたら？」



夕食後、Fちゃんのお母さんにメールを送りました。

「今日Aに、B君が前からいじめられてるって聞いたんだけど、知ってた？」

「そういえば前にFがそんなこと言ってたわー。誰にいじめられてるんだっけ？」

「C君とD君とE君だって」

「あー、ハイハイ。あの家ね」

「今日、帰り道でB君のこと田んぼに突き落とされたって。一応AとFちゃんが注意したみたいだけど」

「Fも？うわ～！」

「Aには、先生に言ってみたら？って言っといたけど」

「あの先生、頼りないけどね」

「まあね。でもこのままじゃB君がかわいそう」

「だけどB君もおとなし過ぎるんじゃない？っていうか私、B君の家のことあんまり知らない」

「私もB君のお母さんとほとんど話したことないよ。でもB君のお母さん、このこと知ってるかな？教えてあげた方がいいかな？」

「ま、学校に任せとけばいいんじゃない？それよりさあ、……」



その夜、Aの寝顔を見ながらつぶやきました。

「どうしょっか」

【学習のポイント】

- いじめを防止するために、保護者が自分たちにできることを主体的に考え、行動につなげようとする意欲を高める。
- 大人（保護者・教職員等）も子どもも、「いじめを許さない集団」、「いじめを生みにくい集団」になるには、どのような人間関係づくりをしていけばよいのかを考える。

【すすめ方（85分）】

流れ	分	主な活動	主な発問	留意点
導入	10	<p>1 本研修会のねらいや進め方の説明をする。</p> <p>①ファシリテーター自己紹介 ②研修の目的、本日の流れの説明 ③話合いのルールの確認 ④グループ内で簡単に自己紹介</p> <p>2 アイスブレイクをする。 「ペア・コミュニケーション」</p> <p>①お題をもとにペアで話し合う。 じゃんけんで話す役／聴く役の順番を決める。（役割は後で交代する） ②ルールを説明する。 ③お題に沿って順番に、話す／聴く。（1分×2人＝2分） お題：「最近食べたおいしかったもの」</p>	<p>■本研修会のねらいや進め方について説明する。</p> <p>■ルールの参加・尊重・守秘について説明する。（③）</p> <p>■「話す役」は1分間お題について話す。（②） ■「聴く役」は相手の話をしっかり聴く。頷いたり、相槌を打ったりするのはOKだが、相手の話を遮ったり、取ったりしない。（②） ■時間はファシリテーターが計るので、時間の途中で勝手に役割を交代しない。（②）</p>	<p>◆4人のグループ型の座席にしておく。</p> <p>◆ホワイトボードに話合いのルールを書いて（貼って）おく。</p> <p>◆レジュメに、研修の目的、本日の学習の流れを記載する。裏面はメモ欄にする。</p>
展開1	35	<p>3 「どうしよっか」を使って話合いをする。</p> <p>①各自に＜事例シート＞「どうしよっか」を配布し、ファシリテーターが読み上げる。</p> <p>②事例に登場するAのお母さんの、その後の行動について話し合う。</p> <p>4 「もしも、私なら」どうか話合う。</p> <p>①自分の子どもから、事例のような話を聴いた時、自分ならどうすると思うか話し合う。 また、すでにそのような経験がある場合、その時どうしたか出してもらう。</p>	<p>■Bへのいじめを解決するために、Aのお母さんは、この後、どうすべきだと思いますか。（②）</p> <p>■あなたが、自分の子どもから「同じクラスの子がいじめられている」と聴いたら、どうすると思いますか。また、今までにそのようなことがあった場合、どのようにしましたか。（①）</p>	<p>◆役割を決めて事例シートを朗読することもできる。</p> <p>◆ファシリテーターは、いじめの加害者の親、被害者の親など、様々な立場があることを気に留めておく。</p> <p>◆グループ用のメモ用紙（A4白紙）や付箋を置いておき、話合いの内容を簡単に記録できるようにしておく。</p>

<p>展開 2</p>	<p>20</p>	<p>②「自分の（しそうな）行動」について、いじめを解決する上でどのようなことが課題になると思うか話し合う。</p> <p>5 「かけがえのないあなたたちへ」メッセージづくりをする。</p> <p>①いじめを生まない、エスカレートさせないために、「一人の保護者として」また、「保護者集団として」何ができるか考えてもらう。</p> <p>②考えたことを「メッセージ」として模造紙にまとめる。 タイトル：「かけがえのないあなたたちへ ～〇〇小学校の保護者は、いじめを許しません！～」 ◎そのために、私たち保護者は ・家では ・保護者みんなで</p>	<p>■自分がすると思う行動は、いじめの解決につながると思いますか。また、自分がこれまでにした行動は、いじめの解決につながったでしょうか。もし、そうでないとしたら、何が課題でしょうか。課題だということを意見交換してみてください。（②）</p> <p>■いじめを生まない、エスカレートさせないために、保護者として何ができるでしょうか。まずは、学校の先生や子どもたちに、『私たちはいじめを許さない』という明確な意思表示をすることが大切ではないでしょうか。 そこで今日は、一人の保護者として、また、保護者みんなで取り組むことを考え、保護者からのメッセージとして、模造紙にまとめていただきたいと思います。 10分程度で考えていただき、10分程度で模造紙にまとめてください。</p>	<p>◆模造紙の書き方例を示す。 ◆模造紙の書き方は基本的には自由。書いてほしいポイントを提示する。</p> <p>◆模造紙（成果物）は、学校に掲示したり、授業で使ってもらったりして、メッセージが子どもたちへしっかり届くようにしたい。子どもたちが見ることを意識して、メッセージをつくってほしいことを伝える。</p>
<p>まとめ</p>	<p>20</p>	<p>6 模造紙を見せながら、各グループの「メッセージ」を発表する。</p> <p>7 ファシリテーターがまとめをする。</p>	<p>■各グループで考えたメッセージを、発表していただきます。</p> <p>■いじめはクラスの中など、身近な人間関係の中で起こる。 ■良好な人間関係、つながりがあれば、いじめは起こりやすい。 ■大人（保護者・教職員）も良好な人間関係や信頼関係を構築していくためには、具体的な取組をしていかなければならない。 ■誰もが、「いじめを許さない」</p>	<p>◆グループ数が多い場合は、全部ではなく、いくつかのグループに発表してもらおう。 ◆また、発表に替えてギャラリーワークで、各グループの「メッセージ」を見て回ることもできる。</p>

		8 ふりかえりシートに記入する。	<p>「いじめを生まない」という意思表示をしていくことが大切。</p> <p>■いじめは個人の問題ではなく、集団、社会の問題。個人と個人の問題として片付けるのではなく、クラスや学校、集団の問題として解決に取り組まなければならない。</p>	
--	--	------------------	---	--

<模造紙の記入例>

かけがえのないあなたたちへ

～〇〇小学校の保護者は、いじめを許しません！～

そのために、私たち保護者は…

★ 家では…

① します。

② します。

★ 保護者みんなで…

① します。

② します

参考 *展開1のグループでの話し合いで使用することもできます。

「どうしょっか」ワークシート

1 Bへのいじめを解決するために、Aのお母さんは、この後、どうすべきだと思いますか。

2 あなたが、自分の子どもから「同じクラスの子がいじめられている」と聞いたら、どうすると思いますか。また、今までにそのようなことがあった場合、どのようにしましたか。

3 自分がすると思う行動は、いじめの解決につながると思えますか。また、自分がこれまでにした行動は、いじめの解決につながったでしょうか。もし、そうでないとしたら、何が課題でしょうか。